

 特集企画**若い世代が活躍するクラブ****マイマイスポーツクラブ**
<山形県川西町>

持続可能な総合型クラブとなるためには、次世代を担う人材の発掘や育成を念頭に新しい人材を積極的に受け入れ、世代交代を図りながらクラブ運営に取り組むことが重要となります。

そこで、今回は、若い世代が活躍するクラブを紹介します。

 1**クラブ概要**

2000年に、地域内のスポーツ関係者を集め、公民館活動によるスポーツ拠点づくりの一環としての総合型地域スポーツクラブ設立に向けた勉強会を行いました。「なぜ、今までのような公民館活動ではダメなのか?」、「会費を払ってまでスポーツをやりたいと思うのか?」—様々な意見が出されました。当時は、少子高齢化や人口減少についてのスポーツ関係者の意識もまだ薄く、既存の形でそれぞれのスポーツ活動が維持できると考えていました。

その結果、公民館では、既存のスポーツ団体の巻き込みを断念し、地域の「親子」を対象に家族の絆や仲間づくりを目的としたクラブ運営ができないかと考え、小学生や中学生、その保護者を対象にしたアンケートを実施しました。

「日常生活の中で保護者同士や親子でスポーツを楽しみたいか」、「会費は一カ月当たりどれくらいだったら払ってもいいか」—など、クラブ設立に向けた調査をした結果、回答者の8割以上が「スポーツをやってみたい」という答えでした。

そこで、クラブ設立のトライアルとして、「親子スポーツ教室」を3年間、受益者負担型のスポーツ教室として開催しました。その間、指導者の確保やスケジュール管理、用具の整備等を行い、クラブ設立に向けた準備委員会を立ち上げ2004年にマイマイスポーツクラブが誕生しました。

なお、クラブは、全世帯加入の「NPO法人きらりよししまネットワーク」(以下きらり)の組織内組織として位置付けられています。

2

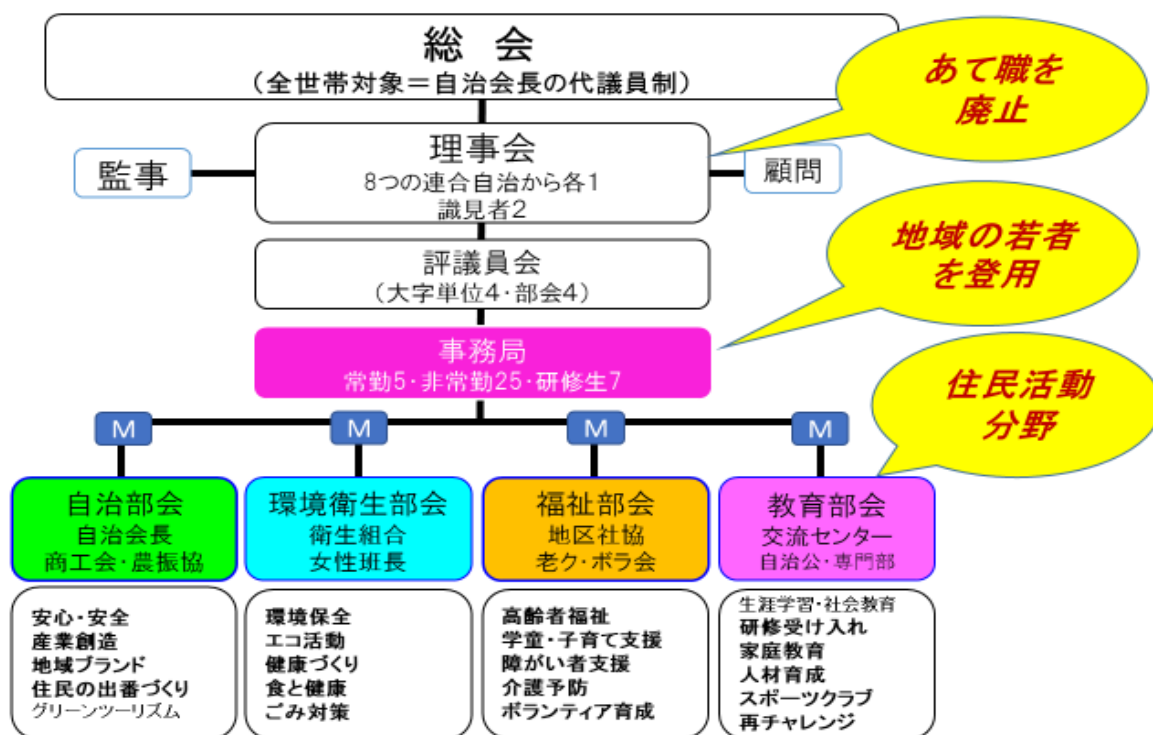
若手を発掘・育成する仕組みを確立 → 継続的運営が可能に → 円滑に世代交代

持続可能な地域づくりを行うには、上手に世代交代をしなければなりません。そのためには、継続して地域づくりに関わる人材の確保と、人材育成のための仕組みが必要となります。強いリーダーが一人いたとして、その人が地域づくりの中心から離れても地域の運営が継続的に進めるような体制をつくる必要があります。きりりでは、NPO組織の維持継続のために、自治会長を巻き込んだ住民ワークショップ（地域づくりの課題や解決策を議論する場）で地域づくりにあたる若手人材の発掘と育成の仕組みをつくりました。

22の自治会から、クラブが属する教育部会に18歳から35歳までの若者を専門部として推薦する制度があり、同制度を通じて、地域の若い力が組織に集約されるよう体系化しています。これまで地域を眺めているだけだった「観客側」ではなく、地域運営組織の一員として活動に実践参加してもらい、それぞれの成長段階で研修を受け、人によっては各部会のマネジャーへと養成されていきます。この時、人材育成を一つのつながりを持ったストーリーとして捉えることが重要です。そうすることで、人材が生まれ、育てられ、上手に世代交代する仕組みとして定着していきます。

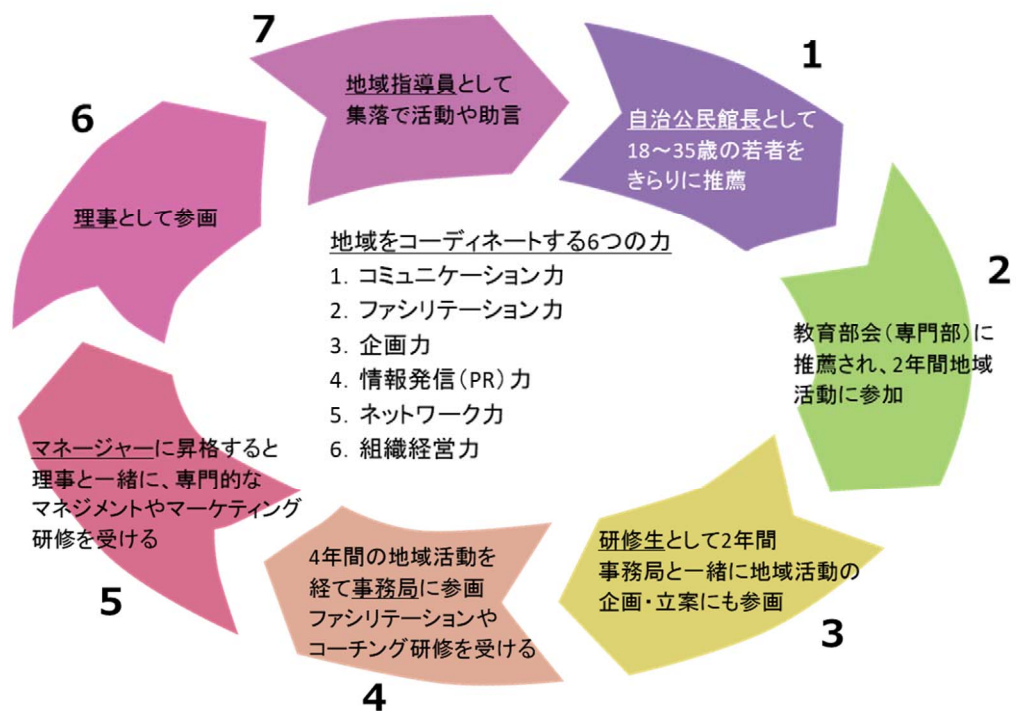
NPO法人きりりよしじまネットワークの組織図

地域づくりの担い手として、事務局に若者を登用していることが分かるように組織図を作成しました。



人材確保から育成までの流れを示すステップアップの図

組織運営を上手につなげるために育成プランをつくり、人が生まれ育つ環境を仕組み化する流れが分かるようにステップアップ図を作成しました。



3

活動する人材を「マネジャー」「プレーヤー」「リーダー」に分類

持続可能な魅力のあるクラブづくりは、住民が地域の将来について「考える」、多様な補助金や助成金などお金の使い方を「考える」ことで、地域のブランドや住民のアイデンティティー（共同体・主体性）を生み出します。それは「住民が自ら設定した目標を達成することによって地域づくりが高められていく」仕組みであり、さらには住民自らが活動のステージを見だし、参加することによって、地域づくりの成長と変化を繰り返すことで、より多くの人の巻き込みや出番を創出していくと考えます。

地域づくりに取り組むクラブには、どのような人材が求められているのかを考えることが必要です。きらりでは、事業や活動に広く住民を巻き込みコーディネートする「マネジャー」と、地域活動や事業に参加する「プレーヤー」に分類し、人材を確保・育成しています。

これまでは、コーディネートする人とプレーヤーとして活動する人が混在していて、運営疲れが生じることもありました。それぞれの役割を分担しプレーヤーが安心・集中して活動できるようマネジャーがコーディネートすることも肝要となります。

- ・ マネジャー 組織を円滑に経営（コーディネート）するための人材
- ・ プレーヤー 組織が行う事業を円滑に運営するための人材
（住民が自由に参加でき、リーダーを創出する場でもある）
- ・ リーダー 事業に関わる住民をうまく取りまとめられる人材

4

「組織内のネットワーク強化」 「活動人口の増加」が努力目標

地方の地域コミュニティは今後、ますます高齢化と人口減少が加速していきます。そうなれば、地域の活動人口も減少していきます。

限られた人材で事業や組織運営が余儀なくされるため、組織内部のネットワーク（つながり）の強化を図り、外の支援と上手につなぐって組織や地域の存続に努めなければなりません。

多様な分野の人々と交流できる地域の受け皿づくりと、折に触れその地域を訪れ、活動に参加してくれる「交流から生まれる活動人口」の増加に取り組む必要もあります。

また、日常生活圏のクラブ間のネットワークを組織化し、相互補完しながら複数の力で課題解決ができる地域づくりの一助を担う総合型地域スポーツクラブとして自立することが必要であると考えます。

（マイマイスポーツクラブ 事務局長 高橋由和）

クラブ プロフィール

設立年月日 平成16年6月16日

所在地 山形県川西町吉島地区

運 営 会員数 一般会員110名（平成29年8月現在）、高齢者会員250名

予算規模 約60,000千円（平成28年度）

有給職員 6名

特 徴 吉島地区の全世帯（723世帯/人口約2,500人）が加入するNPO法人が「きらりよしじまネットワーク」です。地域課題を解決するため4つの部会を構成し、その一つの教育部会の中に、総合型地域スポーツクラブ「マイマイスポーツクラブ」が事業化されています。「きらり」では、地域住民のスポーツや介護予防の拠点として、受益者負担のクラブ経営を行っております。クラブ運営や地域づくりには、地域の若者を組織の事務局として体系化し、常勤・非常勤合わせて約30名の若者が地域づくりのエンジンとして企画・運営・コーディネーターとして活躍しています。

連絡先 〒999-0214 山形県東置賜郡川西町大字吉田5886-1

TEL 0238-44-2840 FAX 0238-44-2841

E-Mail kirai-npo@e-yoshijima.org

URL <http://www.e-yoshijima.org/>